

五月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL 0743-531175 FAX 0743-531176

銀杏の若葉が、枝という枝に青々と鈴なりに生えそろうって、やわらかな風にそよいでいます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十九年五月のご案内を申し上げます。

永代経 法要 厳修

日時 五月十三日(土) 昼二時・夜七時

十四日(日) 朝十時

講師 「御堂さん」編集長

菅 純和師

■永代経は、「亡き人をご縁として、ご先祖から伝えて頂いた尊い仏法を、永代にわたり」伝えていくため「仏法聴聞の殿堂としてのお寺を護持して(菅純和師著「仏事の小箱」より)」いこうと願われる方々によって営まれる法要です。

■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

●伝燈奉告法要団体参拝ご参加、有難うございました。

新緑まぶしい京都・西本願寺では、去る4月28日「第25代専如門主 伝燈奉告法要」が厳修され、当山西福寺からも多数のご参加をいただきました。「奉賛伝燈作法」は、親鸞聖人750回大遠忌法要の際、制定された「宗祖讃仰作法音楽法要」を依用したもので、耳慣れた正信偈や念仏和讃の旋律を声高らかに勤めさせていただきました。法要後は、境内や門前を散策したのち、七条西洞院「きょうと和み館」で楽しく会食いたしました。

全行程「茨木観光」の大型観光バスで移動し、安全で快適な一日を過ごすことができました。ご参加いただいた皆さま、誠に有難うございました。

西福寺住職

永代経に向けて(お願い)

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願いします。

■5月12日(金)午後7時〜於西福寺本堂
おかざり(供物をそなえつけます)



伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

正信偈のつづろ ⑱

◆極重悪人唯称仏 我亦在彼攝取中
煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我

【意訳】罪の人々名をよべわれもひかりのうちにあり

まどいの眼には見えねどもほとけはつねに照らします

極重の悪人は、阿弥陀仏の名を称する以外に浄土往生の手だてがない。真信心を得た人は、その身は娑婆にあれども阿弥陀仏の救いのみ光の中にいる。

煩惱にくもる眼では、阿弥陀仏を伺い見ることできないが、阿弥陀仏はそのことに何ら煩わされることなく、常に我が身を照らしてください。

◆本師源空明仏教 憐愍善悪凡夫人
真宗教証興片州 選択本願弘悪世

【意訳】源空上人智慧すぐれおろかなるものあわれみて

浄土真宗おこしては本願念仏ひろめます

日本にも念仏の祖師と言われる方がたくさんおられるが、法然聖人ほど世の誰からも尊敬された方はいない。これは、並外れて仏教に精通されていたからである。阿弥陀仏の化身とも、勢至菩薩の来現とも、善導大師の再誕とも言われる。これほどの優れた方が、私たち善人も悪人も浄土の教えを勧められた。

法然聖人が日本にはじめて浄土宗を建立し、『選択集』を著され、悪世に広められた。

石川欣也先生の
法話のダイヤル0743-53-4488